誤嚥性肺炎地域連携パス導入患者における６か月予後に関する後ろ向き観察研究

【研究概要】

本研究は、長岡赤十字病院において 2024 年９月から運用を開始した「誤嚥性肺炎地域連携パス」を利用された患者さんを対象に、入院後６か月間の転帰や栄養摂取方法等を調査し、地域連携パスの有用性や予後に関連する因子を明らかにすることを目的とするものです。

調査結果をもとに、地域連携パスの改善に向けた基礎資料とし、今後の医療の質の向上につなげることを目指しています。

本研究の実施にあたり、長岡赤十字病院から当院へ転院された対象患者さんについて、診療情報の提供依頼があったことから、当院において必要な情報を提供するものです。

【研究実施体制】

- データ収集・提供：五十嵐 健太郎（見附市立病院）
- データ抽出・整理・解析：島岡 雄一（長岡赤十字病院・研究責任者）

【倫理的配慮】

本研究は、長岡赤十字病院倫理委員会の承認を受けており、収集した診療情報は研究目的以外には使用せず、個人情報の保護に十分配慮した上で適切に取り扱うこととされています。また、当院における研究協力についても、見附市立病院倫理委員会の承認を受け、病院長の許可のもと実施します。

【研究への協力について】

ご自身の診療情報を研究に利用されることを希望されない場合や、本研究についてご質問がある場合は、下記の連絡先までお問い合わせください。

研究への利用を希望されない旨の申し出があった場合は、当該患者さんの診療情報を研究対象から除外します。なお、お申し出によって診療上の不利益を受けることはありません。

【お問い合わせ先】

見附市立病院 事務部次長　佐藤　裕康
住所：〒954-0052 新潟県見附市学校町 2 丁目 13 番 50 号
電話：0258-62-2800（土日祝日を除く 8：30～17：15）